



過去の
ニュースは
こちら

第53回 ほたるのまち守山ハーフマラソン



1,167人のランナーが参加 琵琶湖を望む湖岸をラストラン

SGホールディングスグループ陸上競技場を発着点に開催され、県内外から1,167人のランナーが参加しました。競技場のトラックから飛び出した市民ランナーは、湖岸の美しい風景を名残惜しみながら21.0975kmのコースを力走しました。同大会は今回で終了し、3月に新たに開催される「びわ湖マラソン」に大会レガシーが引き継がれます。

12月11日 | SGホールディングスグループ陸上競技場

国史跡下之郷遺跡で「赤米」餅つき



弥生人になりきってペタン じいちゃんズ&ばあちゃんズに感謝

吉身小学校5年生122人が、下之郷遺跡学習田で収穫した赤米の餅つきをしました。昔の道具で米を蒸し、臼と杵を使って力を合わせてペタン、ペタンとつきました。

田植えから稲刈りまでずっとお世話をしてくれたじいちゃんズと、お餅をおいしいあんころ餅にしてくれたばあちゃんズに感謝し、つきあがったお餅を大事に持ち帰りました。

12月2日 | 下之郷史跡公園

現役Jリーガーによるサッカー教室



プロサッカー選手との交流で 子どもたちを元気にしたい

現役Jリーガーとして活躍している3選手によるサッカー教室が開催されました。このうち元 日本代表の阿部 浩之選手の教室では、小学生21人がパス練習や練習試合で交流し、「ナイス」と子どもたちのプレーを賞賛したり、丁寧に質問に答えたりしていました。参加した子どもは「プロ選手、かっこよかった」と話していました。

12月17日 | 地域総合センター

第33回 中洲ふれあいの灯 点灯



未来を担う子どもたちへの願いを込めて 1,003個のイルミネーション点灯

中洲ふれあいの灯がとまりました。中洲小学校のグラウンドに立つ巨大なメタセコイヤの樹に、学区の世帯数と同数の1,003のイルミネーションが飾られ、カウントダウンとともに一斉に点灯。歓声があがり、集まった学区住民は幻想的な灯に包まれました。中洲ふれあいの灯には、未来へ羽ばたく子どもたちへの願いが込められています。

12月11日 | 中洲小学校 グラウンド

広報もりやまは
右記施設に設置

市役所、各地区会館、JR守山駅(駅前総合案内所)、市立図書館、すこやかセンター、市内金融機関、市内郵便局、市内平和堂各店とアルプラザ栗東、丸善守山店、市内セブンイレブンなど

スマートフォンでも
広報が読めます



「Maichiro」アプリを
インストール



「Sidebooks」アプリを
インストールし、
「ちいき本棚」を選択



※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市は責任を負いません。

守山ニュース 「守山ニュース」びわ湖放送
毎月第1・3日曜日放送中

- 「ユネスコ無形文化遺産登録!近江のケンケト祭り長刀振り」(再放送)
1月20日(金)午後8時20分~8時25分
- 「未定」
2月3日(金)午後8時20分~8時25分



YouTube「守山市広報」で過去の放送を視聴できます